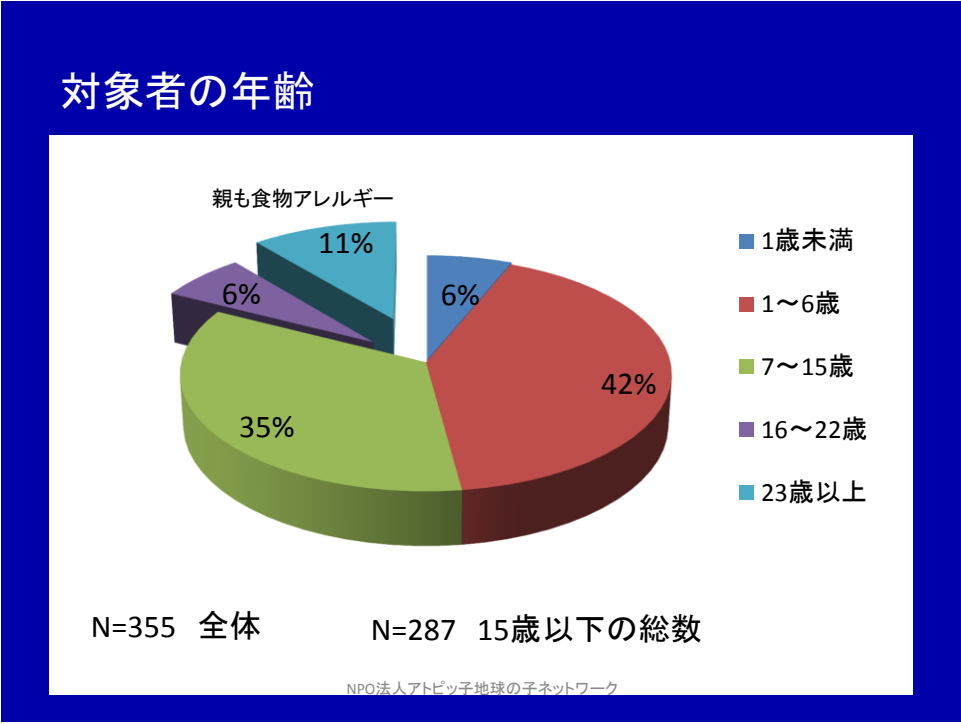


食物アレルギーの人の食生活調査

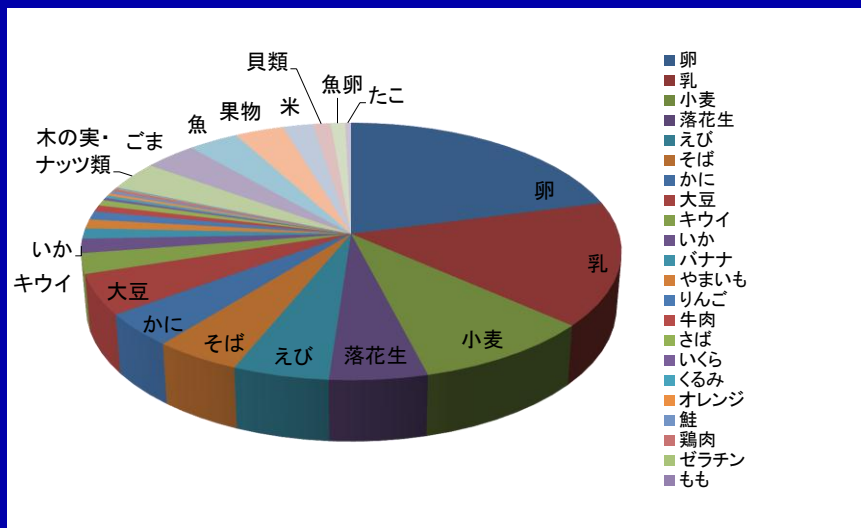
目的
 食材料の選択の様子を調べ、食生活の困難性や課題を発見することを目的とする

回答者
 有効回答数 251家族 患者数355人
 30代～40代 86.9%
 母親92.4%
 37都道府県

NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

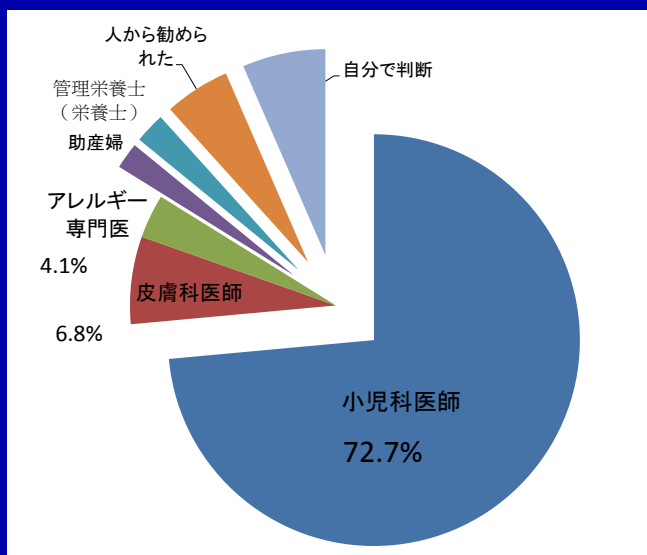


回答者のアレルギー食物



NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

アレルギー除去の指示



医師83.2%

その他11.6%

NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

栄養士の指導

(N=355)		%	栄養士の指導有無
診断の時に受けた	28.6	51.7	何らかの形で 栄養指導を 受けている
希望すればいつでも受けられる	12.5		
受診の度に受けている	5.3		
定期的を受けている	3.2		
医師が栄養指導、食生活指導してくれる	2.1		
受けたことがない	19.9	29.8	栄養指導を 受けたことがない
栄養指導を受けたいと思うが、病院にはいない	8.8		
栄養指導が必要だと言われたことがない	1.1		
栄養士は病院にいるが、食物アレルギーの指導はしていない	1.6	13.6	病院の栄養士が 食物アレルギーのことを 知らない
主治医と栄養士の指導が食い違い困ることがある	1.6		
栄養士が食物アレルギーのことを知らないので 指導を受けるのをやめた	7.5		
栄養士が食物アレルギーのことを知らないので独学で対処	2.9		
栄養士は病院にいるが予約を取るのが大変で受けていない	2.7	5.1	その他の理由で受けて いない
症状が改善し今は栄養指導が不要	0.8		
その他	1.6		

NPO法人アトピッツ地球の子ネットワーク

仮説

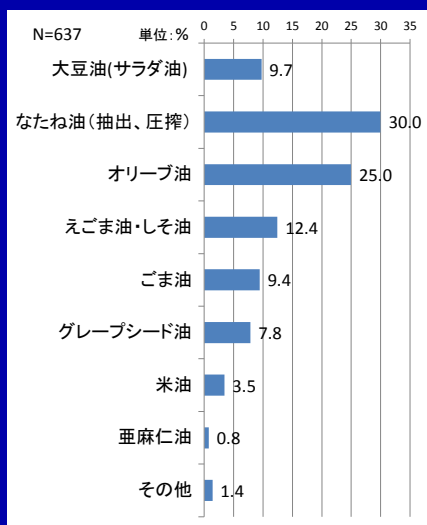
- 栄養士が、「栄養」の観点からだけでなく、食物アレルギーの人の食生活を支援する観点から、アレルゲン除去をしながら食生活の幅を広げる「食生活指導」を行えば、患者の食生活あるいはQOLが高まるのではないかと考え、食生活の実態と栄養指導の実際を調べてみた。

解析

- 油と一部加工品について報告します。
- その他の調味料や購買実態については、現在解析中です。

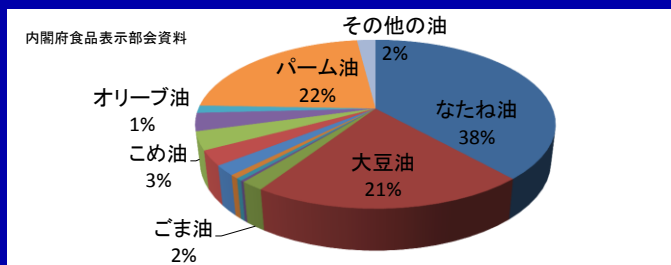
NPO法人アトピッツ地球の子ネットワーク

油の使用状況

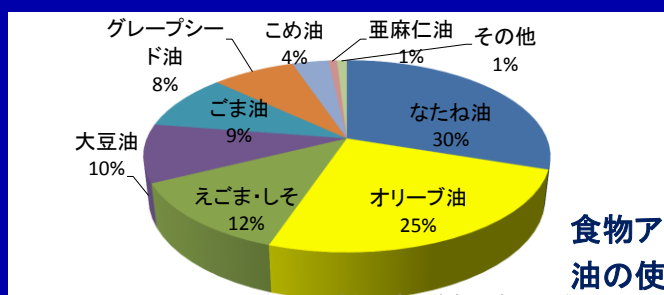


大豆がアレルギー57人のうち
大豆油を使用する6人 10.5%

NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク



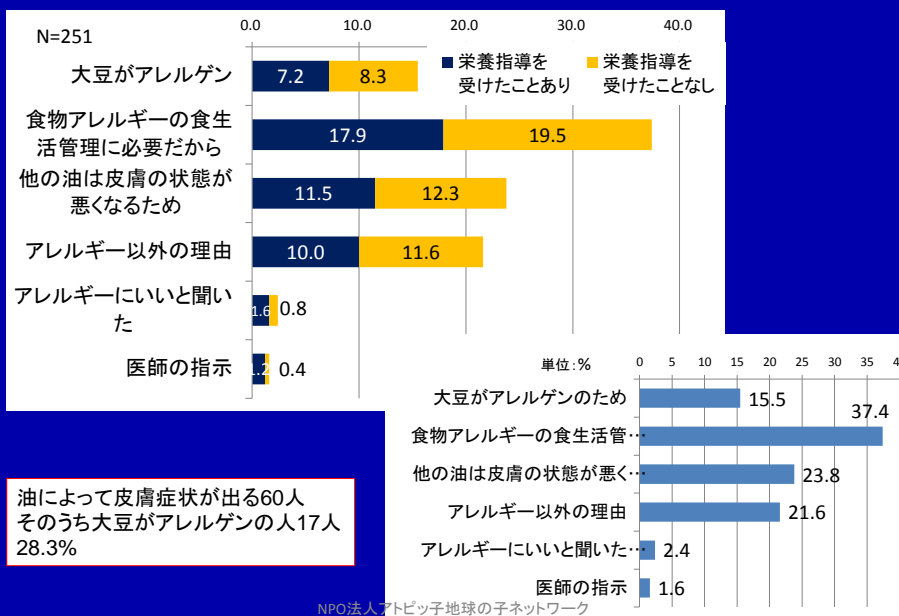
日本の植物油供給量250万トン



食物アレルギーの人の
油の使用状況

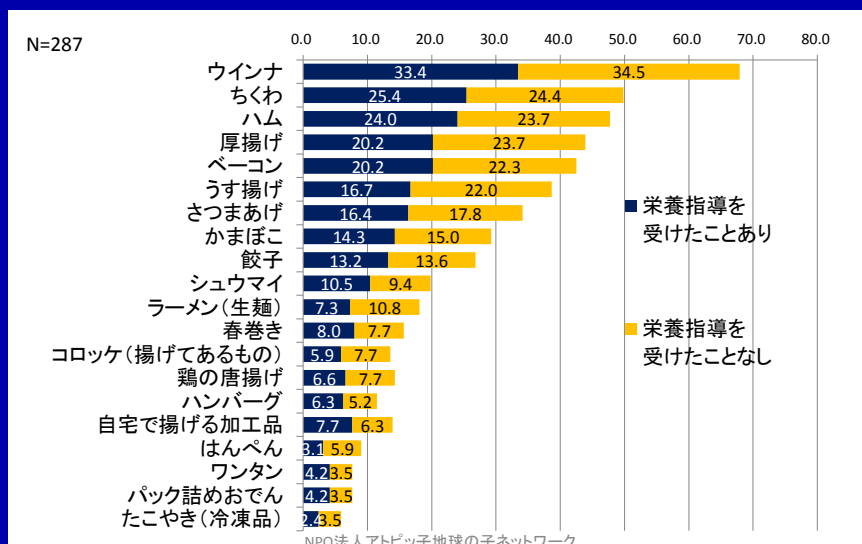
NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

油選択の理由と栄養指導の有無



加工食品の使用状況と栄養指導の有無

アレルギーを含まない加工品・症状がおきないことを確認して食べている食品



まとめ

- 栄養指導や食生活指導を受けている人は51.7%
- その半数は、診断時のみの指導である。
- 油を選んで使用することが食物アレルギーの人の食生活管理に必要と考えている人34.4%
- 油によって皮膚の状態が悪くなる人21.9%
- 油選択に対して栄養指導の有無による差異はなかった。
- 加工食品の選択について、栄養指導の有無による差異はなかった。
- 栄養指導、食生活指導によって、患者の食生活を支援するようしくみづくりがまたれる

NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク